

30年度けがの発生件数

- 救急車要請（校内）…5件
 1. 運動会（熱中症）
 2. 体調不良
 3. 駐輪場の事故（部活動中、鉄筋ぶら下がり骨折、入院）
 4. 体育館玄関ガラス裂傷（ふざけて窓ガラス直撃）
 5. 鬼ごっこで転倒（12針）
- ※ 水難事故（校外 源河川）
- 病院受診 12件
 - 学校生活…4件 部活動…8件



スーパーマンではない

清流大川

羽地中学校
学校だより 167号
せいりゅうおおかわ
H31. 1.28

左上の表は、今年度（平成30年度）1月25日現在までの学校での怪我の状況です。救急車を要請した回数も、去年の1件に比べて5件となっており、極端に多くなっています。運動会では毎年、水分や塩分等の不足で熱中症状を起こす生徒はいますが、その他は、ふざけや不注意で起こっているものです。駐輪場の事故は、部活動練習中に、メニューにはない行動で駐輪場の鉄パイプにぶら下がり、握力が足りずに、パイプから滑り落ちた事故で骨折しています。体育館玄関前でのガラスの裂傷は、悪ふざけで押し倒されてガラスが割れて傷を負ったものです。そして、最近、2年生がお昼休みに鬼ごっこして、自らバランスを崩して転び、砂利道で膝を12針も縫う大怪我をしました。他にもサッカーゴールにぶら下がって落ちて骨折したり、友達とふざけた際に玄関ガラスを割ってしまったこともあり、ほとんどが自分のバランス能力や筋力を過信して起こした事故です。注意していれば防げるものでした。

我々は、スーパーマンでもなければアベンジャーズでも、スパイダーマンでも、マイニングレテブルでもウルトラセブンでもない。怪我で最も後悔し、辛いのは、大事なスポーツ競技大会やコンクールに出場できないことだ。練習中に怪我したのなら、まだ、我慢できるが、悪ふざけや遊びで怪我したのなら、泣くに泣けない。周りからも、浅はかな行動だと、幼稚な行動を攻められるだろう。もっと自分の体のことを知り、安全な行動をするべきです。筋力や体力をコントロールできる知性と理性を中学生ならば持ちたい。

廊下を走ってはいけないことは、小学校でも習っています。教室や廊下は運動場ではない。運動して良い場所は安全が確保されていますが、それでも怪我はします。賢い中学生は、自分の身を守り、安全な行動で安心できる学校生活を送るべきです。



職場体験



職場体験で学んだこと H・I
僕は職場体験学習で名護消防本部に行きました。一日目の午前中に、消防車の車両の説明を受けました。話の終わり頃、隊員の方から急に、「勉強は何のためにやるのか？」と質問され、答えにもじもじしている。「勉強は、将来、自分がやりたい職業や仕事に就くために、視野を広げて考えることが出来るようになるためだよ。」と教えてくれました。思いのこもった良い話が聞けたと思います。
2日目は、勤務交替式というものをを行い、消防車両を点検し、救急車の中の設備や装備の説明を受け、はしご車に乗せてもらいました。また、訓練礼式やロープ結索訓練をしました。訓練礼式は、東日本大震災を教訓に全国から集結した消防隊員が迅速に行動をそろえ救助に当たる大切な行動様式です。ロープ結索は、ロープを使用して人命を救助するための方法です。



3日目は、毎日欠かさず行う勤務交替式、車両点検を行い、防災センターで自分の身を守るための行動練習や地震・津波への備えなどを学びました。
沖縄近くの海溝にも大きなプレートがあり、少しずつ沈み込んでいて、いつかそれが地震となり、津波が押し寄せてくるかもしれません。